

# 釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時 令和4年(2022年)10月27日(木) 11:00

発表項目	ゼロカーボンパネル展～ゼロカーボン北海道を目指して～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日 ( ) 時 分	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○地球温暖化は、人類の生存はもとより、本道の基幹産業である農林水産業などにも大きな影響を及ぼす極めて重大な問題であり、私たちの日常や事業活動と深く関わりがあることから、一人ひとりが地球温暖化対策の重要性を認識し、道民、事業者、行政等が連携して取組を進める必要があります。</p> <p>○北海道では、2050年までに、道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。</p> <p>○北海道らしい脱炭素社会の実現に向けて、地域の皆様に、地球温暖化のメカニズム、地域の事業者の取組、北海道の森林の大切さなどを紹介するパネル展を開催します。</p> <p>1 日程 令和4年11月1日(火)～11月30日(水)</p> <p>2 会場 イオン釧路昭和店1Fレストラン街通路 (釧路市昭和中央4-18-1)</p> <p>3 内容 ゼロカーボン北海道への理解を深めるパネル展示</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	・多くの方が来場されますよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	同時レク	(場所)

担当(連絡先)	北海道釧路総合振興局保健環境部環境生活課地域環境係 係長 北大作 電話：0154-43-9151		
---------	--	--	--

# ゼロカーボン パネル展

～ゼロカーボン北海道をめざして～

2050年、ゼロカーボン北海道の実現に向けて  
私たちができることを一緒に考えてみませんか？

日時 令和4年11月1日（火）～30日（水）  
場所 イオン釧路昭和店  
1階レストラン街通路



北海道釧路総合振興局

# パネルイメージ

## ちきゅうおんだんか 地球温暖化ってなんだろう？

**ペンギンさん！**  
地球温暖化って知ってる？  
明日、学校で言うんだけど、  
予習していきたくて・・・

**地球温暖化のことなら**  
ぼくに任せて！  
この前、学校で習った  
ばっかりなんだ！

**コビトサン ペンギン**

- 地球には、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）が  
ほとんど存在していて、  
太陽からの熱を適度に保って、  
僕たちが生きやすい温度に  
調節してくれているんだ。
- ただ、人間がたくさんCO<sub>2</sub>を  
出したり、CO<sub>2</sub>を吸収してくれる  
森をなくすことで、  
今の地球には、昔よりたくさん  
のCO<sub>2</sub>が存在しているんだ。
- いま、地球にはCO<sub>2</sub>が  
増えすぎて、太陽からの熱が  
地球にももっているんだ。  
これが原因で、地球の温度が  
上がっているんだ！
- 100年経の地球に比べて、  
いまは0.73度も気温が高んだ！  
このままだと、100年後には  
最大で約4.0度も地球の気温が  
上がると言われているよ！
- このまま地球の気温が上がると、  
台風が増えたり、南極や北極の  
氷が溶けたり、海面が上昇して  
小さな島がなくなったりして  
しまうらしいんだ！
- なるほどね、よくわかったよ！  
ペンギンさんありがとう！  
地球温暖化が進まないように、  
僕たちもできることをやらないとね！

## “ゼロカーボン北海道”ってなんだろう？

**ゼロカーボン北海道とは** **気候変動の影響**

2050年までに北海道内における  
温室効果ガスの削減と森林の保全を  
進め、排出量と吸収量<sup>※</sup>の均衡する  
状態（ゼロカーボン）をめざします。

温暖化などの気候変動によって、  
わたしたちの身の回りに大きな影響が  
生じるおそれがあります。

※植物は、光合成により、空気中からCO<sub>2</sub>を取り  
込むことが出来ます。

**ゼロカーボンのイメージ**

人間活動による排出量  
森林などによる吸収量  
排出量と吸収量の均衡を達成

現在 2050年までに

**温暖化の原因**

温暖化の主な原因は、人間の活動から排  
出される温室効果ガス（二酸化炭素  
（CO<sub>2</sub>）など）の増加と言われています。

**私たちの取るべき行動**

“ゼロカーボン北海道”の実現に向けては、温室効果ガスの削減ととも  
に、快適で豊かな暮らしを意識しながら、道民の皆さん一人一人が行  
動を選んでいくことが求められています。

**3つのSで温室効果ガスを削減**

**Save**（エネルギーの消費を抑える）  
□ 無理のない夏季・冬季の室温管理  
□ 食べ残しのほか、食品廃棄物の削減 など

**Select**（温室効果ガスの排出が少ないモノを選択する）  
□ 省エネ性能の高い家電への買い替え  
□ 再生可能エネルギー比率の高い電力への切り替え など

**Shift**（ライフスタイルや価値観を転換する）  
□ 再生可能エネルギー設備の導入  
□ 省エネ・I社材<sup>※</sup>-住宅や次世代自動車の導入 など

省エネ家電  
I社材<sup>※</sup>の見える化  
再生可能I社材<sup>※</sup>  
太陽光パネル  
蓄電池  
電気自動車

## ほっかいどう じつげん ゼロカーボン北海道の実現のためにわたしたちができること

**マイバッグ  
マイボトル  
つか  
をしよう！**

**こうつうきかん  
交通機関や  
じてんしゃ  
つつか  
自転車を使おう！**

**じもと つく  
地元で作った  
しょくざい  
つつか  
食材を使おう！**

**ごみを減らそう！**

**でんき  
電気を  
せつやく  
節約しよう！**

**はん の こ  
ご飯を残さず  
た  
食べよう！**

**ふく なが  
服を長く  
たいせつ  
大切にしよう！**

**ちきゅう やさ  
地球に優しい  
しょうひん  
商品を買おう！**

**エレベーターより  
階段を使おう！**

## 企業の皆様とともに進める 森林吸収源対策

**■北海道における森林吸収源対策**  
2050年「ゼロカーボン北海道」  
の実現に向け、全国一の面積を有する  
本道の豊かな森林資源を最大限活用  
し、CO<sub>2</sub>を吸収・固定する活力ある森  
林づくりと道産木材の利用促進に取  
り組んでいます。

**■森林吸収源対策の現状と課題**  
戦後植林した多くの人工林は高齢化し、森林吸収量が徐々に鈍化してきています。このため、ゼロカーボンの実  
現に向け、計画的な伐採と着実な再造林による森林資源の若返りが必要です。  
また、伐採された木材は、建築物や家具等に利用することで炭素を長期間にわたって固定することから、店舗、事  
務所やオフィスビルなどの民間施設における道産木材の利用を進めることが必要です。  
こうした森林吸収源対策を一層加速するため、次のおり企業の皆様と連携した取組を展開しています。

**～企業の皆様への森林吸収源対策のご提案～**

**北海道の森から始めるカーボン・オフセット**  
間伐により吸収したCO<sub>2</sub>（クレジット化済み）を企業のオフセット活動に利用できます

**ほっかいどう企業の森林づくり**  
森林所有者と連携して森林づくりを進めることができます

**グリーンワーケーション**  
森林で余暇を過ごしなが  
ら、木の温もりあふれるワーク  
スペースで働くことができます

**HOKKAIDO WOOD**  
建築物や家具などに道産木材を使用することで、CO<sub>2</sub>を長期固定することができます

**森林吸収源対策に取り組んでいただくメリット**

- ゼロカーボンへの貢献
- 社員のゼロカーボンや環境への意識向上
- 企業価値の向上
- 就業環境の改善

【森林吸収源対策全体のお問い合わせ先】 北海道水産林務部林務局森林計画課 計画調整係 011-204-5494  
※「企業の皆様とともに進める森林吸収源対策」ホームページ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/srk/kyushugen.html> 2022年5月